

平成29年度

村上市 事務事業評価シート

様式第1号

1. 事業の概要 (Plan)

● 新規

○ 継続

	コード	名 称	担当所属	福祉課
事務事業	03638001	あらかわ病児保育センターの指定管理	氏 名	課長 加藤 良成
			会計	一般会計
総合計画での位置づけ	政 策	00000001 いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり	款	民生費
	施 策	00000002 保育環境の整備・改善	項	児童福祉費
根拠法令・要綱等		村上市病児保育施設設置条例	目	児童措置費
対 象 (誰を、何を、どこを)		村上市または関川村に住所のある生後6か月から小3までの児童	記入者:	相馬 ひとみ
手 段 (どのような方法で)		病児・病後児保育の実施		
意 図 (対象をどのようにしたいか)		保護者の子育てと就労の両立を支援する		
関連事業				
事業の概要		保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的として、病気の回復期には至っていないが当面症状の急変のおそれがない児童及び病気の回復期にある児童を一時的に預かる施設として設置したあらかわ病児保育センターの管理運営		

2. 事業実施実績と実施見込み (Do)

	指 標 名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	受け入れ者数	人	目標 0	目標 0	目標 300	目標 400	目標 400
			事中 0	事中 0	事中 111	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 300	見込 -	見込 -
	保育園等への巡回回数	回	目標 0	目標 0	目標 30	目標 40	目標 40
			事中 0	事中 0	事中 0	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 10	見込 -	見込 -
	広報 (チラシ) の配布回数	回	目標 0	目標 0	目標 4	目標 4	目標 4
			事中 0	事中 0	事中 0	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 4	見込 -	見込 -
成果指標	指 標 名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	利用登録者数	人	目標 0	目標 0	目標 550	目標 650	目標 700
			事中 0	事中 0	事中 97	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 200	見込 -	見込 -
	指標設定の考え方	チラシや巡回活動が新規登録者の増加につながっていく					
	利用登録者の登録率 (利用登録者/対象者)	%	目標 0	目標 0	目標 15	目標 18	目標 19
			事中 0	事中 0	事中 3	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 5	見込 -	見込 -
	指標設定の考え方	対象者は、4月1日を基準日として算出する (H29.4.1対象者数3,704人)					
	利用者の満足度	%	目標 0	目標 0	目標 90	目標 90	目標 90
			事中 0	事中 0	事中 90	事中 -	事中 -
			実績 0	実績 0	見込 90	見込 -	見込 -
	指標設定の考え方	実際に利用した児童の保護者からのアンケートにより満足度を調査し、利用拡大を図る					

数値で表せない成果 (見込)

	年 度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (当初額)	平成29年度 (見込額)	平成30年度 (計画額)	平成31年度 (計画額)
事業コスト	直接事業費 a	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		0	0	10,878	10,878	14,211	14,474
	財源内訳	国庫支出金	0	0	3,036	3,036	3,036
		県支出金	0	0	3,036	3,036	3,036
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	772	772	1,280
		一般財源	0	0	4,034	4,034	6,891
	(主な費用)						
	人件費	人工 (人/年)	0.000人	0.000人	0.250人	0.250人	0.250人
		金額 b	0	0	1,844	1,844	1,844
	総コスト (a+b) c	0	0	12,722	12,722	16,055	16,318
	市民一人当たりの額 (c/人口)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		0.000	0.000	204.452	204.452	258.015	262.242

3. 事業の評価 (Check)

①前年度事後評価

評価期間：平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月 31日

視 点		評価項目		説 明
妥当性	A	自治体関与の妥当性	3 妥当である	
		目的の妥当性	3 妥当である	
		対象(受益者)の妥当性	3 妥当である	
有効性	A	目標(改善)達成度	3 目標以上	
		類似事業の存在	3 存在しない	
		上位施策への貢献度	3 大いに貢献している	
効率性	A	コスト効率	3 適正である(削減の余地はない)	
		実施主体の適正性	3 適正である	
		負担割合の適正性	3 適正である	
総合評価	A	説明	新規事業	

②今年度事中評価

評価期間：平成29年 4月 1日 ～ 平成29年 9月 30日

視 点		評価項目		説 明
妥当性	A	自治体関与の妥当性	3 妥当である	子育て世帯が安心して病中の子を預けられる環境の構築のためには市の関与は妥当であると考ええる。
		目的の妥当性	3 妥当である	乳幼児期は感染症の発症も多く、集団保育が困難になる場合があり、子育てと就労の両立支援の観点からも妥当であると考ええる。
		対象(受益者)の妥当性	3 妥当である	感染症対策や適切な看護、保護者の代わりに保育を行うという立場からも妥当であると考ええる。
有効性	A	目標(改善)達成度	2 概ね目標どおり	利用登録者数は、目標値を下回ったが、受入者数はほぼ目標値となる見込みである。
		類似事業の存在	3 存在しない	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3 大いに貢献している	子育て世帯に対しては大変有益と考える。
効率性	A	コスト効率	3 適正である(削減の余地はない)	現時点では適正であると考ええる。
		実施主体の適正性	3 適正である	医療機関と連携し、安心・安全に子ども預けられる環境を整えるためには、市が実施主体で行うべきである。
		負担割合の適正性	3 適正である	適正であると考ええる。

【事中評価各視点に対する改善の着眼点】

視 点		改 善 の 着 眼 点
妥当性	A	自治体関与、目的、対象の妥当性に問題なし
有効性	A	目標達成度は設定の困難度によりばらつきがあるため評点への影響度は低い
効率性	A	コスト効率、実施主体、負担割合に問題なし
総合評価	A	課題 今年7月からの新規事業であるが、利用者もほぼ見込みどおりであり、利用者からも苦情等は寄せられていない。現状のとおり事業を維持することが適当である。

【総合評価における今後の方向性の目安】

今 後 の 方 向 性		総合評価
① 拡大基調 (有効性の観点からの改革)		C
② 生産性向上 (有効性の観点からの改革)		B or C
③ 効率性向上 (効率性の観点からの改革)		B
④ 協働化 (効率性の観点からの改革)		C or B
⑤ 現状維持		A
⑥ 縮 小		C
⑦ 休廃止		D

成果の方向性	拡充		④	②	①
	維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

4. 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	方 向 性	⑤現状維持 (コスト維持、成果維持)
	昨年度改善提案内容	
	上記実施状況	
	改善提案 (短期的改善と 長期的展望)	現状では妥当であると考えているが、受け入れ定員の拡大について、長期的な視点で関係機関と協議を重ね、今後考慮していく必要がある。

5. 【総合評価】 (行財政改革推進本部会議)

結 論	今後の方向性	
	<input type="checkbox"/> ①拡大基調(コスト拡大、成果拡充) <input type="checkbox"/> ②生産性向上(コスト維持、成果拡大) <input type="checkbox"/> ③効率性向上(コスト縮小、成果維持) <input type="checkbox"/> ④協働化(コスト縮小、成果拡大) <input checked="" type="checkbox"/> ⑤現状維持(コスト維持、成果維持) <input type="checkbox"/> ⑥縮小(コスト縮小、成果縮小) <input type="checkbox"/> ⑦休・廃止(コスト皆減、成果休廃止)	
	意見	一次評価のとおり
コメント		